

「水引小学校のふるさとを学ぶ郷土学習の取組」

1 学校名

薩摩川内市立水引小学校

2 学年・人数

5・6年生（計49人）

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

令和2年7月10日（金） オリエンテーション：ふるさと・コミュニケーション科

令和2年11月10日（火） ふるさとを学ぼう合同調べ学習

令和2年11月～12月 発表資料作成

(2) 発表の日時・場所

令和2年12月10日（木） ふるさとを学ぼう発表会：水引中学校

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 人形岩（にんぎょういわ）
- ・ 諏訪神社（すわじんじゃ）
- ・ 菅原道真公腰掛石（すがわらみちざねこうこしかけいし）：平安時代

(2) 特徴

- ・ 人形岩
西方海水浴近くにある親子の姿に見える岩で、漁に出かけ帰らぬ夫を待つ親子にまつわる伝説が伝えられている。
- ・ 諏訪神社
タケミナカタノカミを祀った神社で、古くは西方の有馬家が作った鎌を奉納する祭礼が行われていた。
- ・ 菅原道真公腰掛石
藤原氏から逃れるため湯田地区にたどりついた菅原道真が、休憩のために腰を下ろした石であると伝えられている。

5 保存会や地域との連携の具体

オリエンテーションの際に、西方地区と湯田地区から講師をお招きし、地域にまつわる伝統・文化の概要、伝統を引き継ぐ地域の人々の思いについて説明をしていただいた。

また、調べ学習の際には、現地で説明をしていただいたり、文書で質問の答えを送ってもらったりした。

さらに、発表会にも参観していただき、児童に温かい言葉をいただいた。

6 活用の取組の工夫した点

小中一貫教育の中で、中学校1年生と合同で学習を進めた。5つの地域を3年間で学習できるように計画をしている。事前に保存会の方々に質問内容などを知らせ、例年よりも短時間で説明や調べ学習ができるようにした。

7 取組の様子（研究発表、創作劇等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 西方・湯田コミュニティ協議会の副会長さんがわかりやすく説明してくださったので、昔のことを詳しく知ることができてよかった。
- ・ 平安時代の菅原道真が関係していてすごいと思った。
- ・ 今まで知らなかったことを知ることができてうれしかった。
- ・ 地域のことについて多くのことを知ったので勉強になった。

【教員】

- ・ 身近な場所にある歴史にふれることで、子供たちは地域についての理解を深めることができた。
- ・ 湯田地域には史跡が多く残っており、また歴史上の人物の逸話などがあり、興味深い場所であることを知った。